



種名：サヨリ *Hyporhamphus sajori*

分類：在来種 汽水・海水魚

○大きさ

- ・成魚：15～35cm

○生息箇所(すみか)

- ・利根川下流部の河口から利根川河口堰の下流側に多い。
- ・大きな河川の汽水域(きすいいき)や沿岸(えんがん)に生息しています。

○生態(どんな生活をしているか)

- ・動物プランクトン等の小型の浮遊動物(カイアシ類やイサザアミ等)を食べる。主に表層を泳ぎ回っています。
- ・春から夏(4～7月)にホンダワラ類(海海藻)や流れ藻(ながれも)に卵を産みます。クルマサヨリに比べると大型(おおがた)の魚です。
- ・サンマのような形をしていますが、断面がま四角なので面白い魚です。

○釣りや漁業

- ・クルマサヨリと同様にウキ釣りで釣れるようです。
- ・利根川ではサヨリに関する漁業は行われていないようですが、春先に定置網(ていちあみ)や刺し網(さしあみ)でとれるそうです。

○地域利用

- ・漁獲量が少ないため出回っていないようです。
- ・サヨリは上品な白身と美しい姿から高級魚として扱われています。
- ・しかし、美しい容姿とはうらはらに、内臓(ないぞう)を守る腹膜(ふくまく)が真っ黒なため、見た目とのギャップに驚かされます。かつては外見は美しいが内面は黒いという意味でサヨリのような人と例えることもあったそうです。